

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

東大阪市 枚岡中学校

人権課題

子ども

対象学年・
取り扱った教科等

中学2年生・特別活動

目標・人権教育のねらい

- ・子どもの権利条約についての学習を通じて、一人ひとりが大切にされ、安心安全な集団を形成していくとともに、社会が抱えるさまざまな問題の解決に向け、主体的に行動を起こせるようになる。
- ・「誰一人取り残さない」というSDGsを貫く理念にふれ、自分たちの学級や学年集団を見直す契機とする。

実施した内容

- ・「戦争×子ども」を大テーマとして、「子ども×〇〇」の調べ学習及びクラス内発表。(4時間)
- ・文化発表会の学年劇に関わる取組み【脚本づくり、「虐待」をテーマにしたドラマづくり、子どもの権利条約の条文を示すアイコンパネル作成など】(10時間)
- ・地域にSDGsを広める取組みを考える。(7時間)

工夫した点

- ・「誰一人取り残さない」を体現できるように、行事や調べ学習等でグループ活動を取り入れ、一人ひとりが役割をもつようにし、グループ内での交流・対話の機会を設定した。
- ・調べ学習をするにあたり、校区の調査を実施し、自分たちの生活とSDGsを関連付けるように展開した。

他教科との
関連

- ・夢TRY科(総合的な学習の時間)において、特別活動でのテーマにつながるように、生徒に身近な題材(小学生が考案したランドセル等)から「子どもの権利条約」に迫った。

事業成果

- 【知識的側面】
- ・あなたはどんな人権課題があることを知っていますか(「子ども」に関係する言葉の記入人数 7名 → 32名)
- 【価値的・態度的側面】
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考える(肯定的回答率 59% → 67%)
- 【技能的側面】
- ・人が困っているときは、すすんで助ける(肯定的回答率 91% → 93%)
- ≪生徒の変容≫
- ・子どもの権利条約に基づいて自分たちの生活を見直し、学校生活において意見を主張する場面が増えた。

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

東大阪市 枚岡中学校

人権課題

障害者

対象学年・
取り扱った教科等

中学1年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・障がいの有無に関わらず、それぞれに得意不得意があり、それらの「あってもよいちがい」を大切にできる集団づくりのきっかけとする。
- ・当事者との出会いを通じて、それぞれが持っている命の大切さを知り、互いに尊重しあう集団になるために必要なことを考える。

実施した内容

- ・それぞれに得意不得意があることを改めて確認し、その中で自分たちができること、どんなことが助けになるのかを考える。(1時間)
- ・世の中にある「ユニバーサルデザイン」を題材に、障がいの有無に関わらずみんなが生きやすい社会を築いていくために実際になされている工夫を知る。(1時間)
- ・車いすバスケット、手話エンターテインメントの体験を通して、障がいの有無に関わらずみんなが楽しむ方法があること、また、ノーマライゼーションの実現に向けて自分たちにできることは何かを考える。(2時間)

工夫した点

- ・自分の得意なことや不得意なこと、左利きの人が日常で感じる困り感等を手掛かりに、障がいについて、身近な課題として捉えることができるように展開した。
- ・講演会前に、講師に対しての質問をあらかじめ生徒から募集し、それらに答えていただく形で進めたため、生徒が知りたい内容をふまえた講演内容となった。
- ・当事者の熱量が生徒たちにしっかりと届くように、座って聞くだけの講演会ではなく、体験を通じて学ぶ内容にした。

他教科との関連

- ・国語科で障がいの有無に関わらず生きやすい社会を築いていくためにバリアフリーについての学習を行った。

事業成果

- 【知識的側面】
- ・あなたはどんな人権課題があることを知っていますか(「障がい者」に関係する言葉の記入人数 4名 → 23名)
- 【価値的・態度的側面】
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考える(肯定的回答率 61% → 61%)
- 【技能的側面】
- ・授業で学校の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝える(肯定的回答率 84% → 87%)
- 《生徒の変容》
- ・当事者との出会いを通じた学習により、学級など身のまわりの環境をよくするために何をすべきかを考えようとする生徒が増えた。

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

東大阪市 枚岡中学校

人権課題

同和問題

対象学年・
取り扱った教科等中学1～3年生・
夢TRY科(総合的な学習の時間)

目標・人権教育のねらい

- ・先入観や偏見、不確かな情報を信じること等から差別が生まれることを知る。
- ・自己をみつめ、自己否定させられてきた刷り込みを客観視しながら、「自分は自分であっていいんだ」ということに気づき、集団における自分の力・自分の役割を自覚する。
- ・仲間の背景や痛みを知り、寄り添い、積極的につながろうとする態度を育てる。

実施した内容

- ・おもいこみや偏見、間違った情報が伝わることの危険性を理解する。(1時間)【1年生】
- ・「価値オークション」の学習を通じて、「無意識の加差別性」「差別のメカニズム」について考える。(2時間)【2年生】
- ・統一応募用紙と社用紙の比較から、人権課題を有する当事者の行動の成果が当事者のみならず多くの人の権利の保障に寄与したことを知る。(2時間)【2年生】
- ・「#STOPOO!宣言」の作成を通じて、「自分は自分であっていい」ということを再認識するとともに、自己の体験と仲間の思いを重ねて考える。(3時間)【2年生】

工夫した点

- ・アクティビティを通じて、誰しもが被差別側にも加差別側にもなりうることを体験できるように展開した。
- ・「無意識の加差別性」「差別のメカニズム」について、「自分ごとで重ねて考える」ことで同和問題を主体的に捉えられるように展開した。
- ・「自分を語る」ことに対する難しさを少しでも和らげ、子どもたちが自分の言葉で発信できるように、子どもにとって馴染み深い言葉を使いながらそれぞれの宣言の作成に取り組んだ。

他教科との
関連

- ・社会科の歴史学習における、部落史に関わる内容と関連付けた。
- ・夢TRY科(総合的な学習の時間)での指導内容につながるよう、被差別の立場にある人の思いについても考えるよう指導を行った。

事業成果

- 【知識的側面】
- ・あなたはどんな人権課題があることを知っていますか(「同和問題」に関係する言葉の記入人数 2名 → 91名(2年生))
- 【価値的・態度的側面】
- ・自分にはよいところがある(強肯定的回答率 24% → 34%(2年生))
- 【技能的側面】
- ・人が困っているときは、すすんで助ける(肯定的回答率 91% → 93%(2年生))
- ≪生徒の変容≫
- ・取組みを通じて、集団における自分の力や役割を感じたことや、仲間の思いを知り、つながりが強まる体験をしたことで、一つひとつの取組みに対する生徒の反応が前向きになってきた。

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

東大阪市 枚岡中学校

人権課題

外国人

対象学年・
取り扱った教科等中学1～3年生・
総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・外国人及び外国にルーツがある人に対する偏見や差別をなくし、誰もが安心して生活できる集団になるために必要なことを考える。
- ・母国語学級(民族学級)に対する理解を深め、韓国・朝鮮などの外国に関する文化を理解し、仲間の思いを尊重することの大切さに気づく。

実施した内容

- ・韓国・朝鮮などの外国に関するクイズや伝統文化の体験を通して理解を深める。(1時間)
- ・母国語学級の歴史について知り、韓国・朝鮮などの外国にルーツのある自分たちの仲間が学ぶ思いについて考える。(1時間)
- ・文化発表会において、母国語学級の演奏を聴き、感じたことを交流する。(1時間)

工夫した点

- ・母国語学級に在籍する仲間がいることから、身近なことに興味を持つことができるように指導した。
- ・文化発表会での母国語学級の演奏に関するふりかえりを初めて実施し、母国語学級で学ぶ仲間の演奏について、意見を交流した。

他教科との
関連

- ・社会科公民にて在日外国人の人権もふまえた「平等権」に係わる学習をすすめた。

事業成果

【知識的側面】

・あなたはどんな人権課題があることを知っていますか(「外国人」に関する言葉の記入人数 118名 → 161名(全学年))

【価値的・態度的側面】

・地域や社会をよくするために何をすべきかを考える(肯定的回答率 59% → 67%(2年生))

【技能的側面】

・人が困っているときは、すすんで助ける(肯定的回答率 92% → 93%(3年生))

≪生徒の変容≫

・行事や学習を通して学んだ外国に関する文化や仲間の思いを尊重することの大切さを、他校園にも発信し、つながりをより広げていこうとする姿がみられるようになった。

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

東大阪市 枚岡中学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等中学1～3年生・
夢TRY科(総合的な学習の時間)

目標・人権教育のねらい

- ・インターネット上での人権侵害の事実を知り、特にSNS等を使った情報発信などに関して、どのようなことに気をつければよいかを考える。
- ・様々な情報があふれる中で、偏った意見を鵜呑みにせず、たくさんの情報を比較・取捨選択しながら、活用できる情報リテラシー能力を身につける。

実施した内容

- ・特にSNS上でのトラブルの原因になる、「情報の伝え方、曖昧さ」について身近な体験談を思い出しながら、考える。(1時間)【1年生】
- ・職場体験学習のまとめ「HIRAOKA WALKERを作ろう」の中で、インターネット上で得た情報(特に写真等)の取り扱いについて考え、他者の人権に配慮した形でプレゼンテーション作成を行う。(5時間)【2年生】
- ・夢TRY科(総合的な学習の時間)の「情報」の単元を用い、フェイクニュースなどの事例から、インターネット上で情報を得る際の確認点や注意点について考える。(2時間)【3年生】

工夫した点

- ・生徒にとって身近なSNS等の事例をもとに学習を進め、インターネットを利用する当事者として考えることを大切に指導した。
- ・著作権をはじめとした、インターネットを活用するに当たって関係の深い権利について考えられるよう展開した。
- ・悪意を持って誤った情報が拡散されている事例について知り、情報を得る際の注意点について、主体的に考えられるように展開した。

他教科との関連

- ・社会科公民における「新しい人権」として情報に係わる人権の学習と関連付けた。
- ・技術・家庭科における製品作成の際に、著作権等についての注意事項の学習と関連付けた。

事業成果

- 【知識的側面】
- ・あなたはどんな人権課題があることを知っていますか(「インターネット」に係る言葉の記入人数 14名 → 23名(全学年))
- 【価値的・態度的側面】
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考える(肯定的回答率 59% → 67%(2年生))
- 【技能的側面】
- ・人が困っているときは、すすんで助ける(肯定的回答率91% → 93%(2年生))
- ≪生徒の変容≫
- ・社会で起きているインターネット上の問題、身のまわりのトラブルに対する関心をもつ生徒が増えた。
 - ・情報リテラシー能力の必要性を感じ、インターネットやSNSによるトラブルを未然に防ぐ方法や、情報機器の有効な活用方法を、生徒が主体的に考え、学校全体に発信する「デジタル委員」の取組みにつながった。

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

東大阪市 枚岡中学校

人権課題

性的指向・性自認

対象学年・
取り扱った教科等中学1年生・
総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・性の多様性について知り、自己・他者の理解を深め、全ての人自分らしく過ごすことができる集団となるために自分たちにできることはどんなことかを考え、望ましい学級・学年集団を形成する。

実施した内容

- ・性のあり方についての説明をした上で、あり方は他人が疑うことでも決めつけることでもないということを理解する。(1時間)
- ・絵本「じぶんをいきるための一冊」(出典:田中 一步、解放出版社)を読み、「誰もが自分らしく安心して過ごせるようになるために必要なこと」を考える。(1時間)

工夫した点

- ・絵本、動画を使い、当事者が身近にいることについて理解が深まるよう実践を進めた。
- ・SDGsの5番のゴールと関連付けながら、望ましい社会の形成には、自分たちの理解と行動が不可欠であることを意識できるよう展開した。
- ・この学習を通して、自分の性についての悩みを打ち明けてくる生徒もいることを想定し、その際の対応を事前に共有した。

他教科との
関連

- ・保健体育科における「性」の自覚にかかわる学習と関連付けた。

事業成果

【知識的側面】

- ・あなたはどんな人権課題があることを知っていますか(「性的指向・性自認」に関する言葉の記入人数 89名 → 115名)

【価値的・態度的側面】

- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考える(肯定的回答率 61% → 61%)

【技能的側面】

- ・人が困っているときは、すすんで助ける(肯定的回答率 91% → 88%)

≪生徒の変容≫

- ・制服選択において、自分を表現しようと思う生徒が増えた。
- ・数値は下がったものの、学習したことをふまえ、多目的トイレなどの学校の施設において関心をもち、施設の見直しの必要性を議論し、改善を求める生徒が増えた。